

産業用ワイヤレスアクセスポイントでの 4.9GHzチャンネルの有効化

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[サポートされるAPとファームウェア](#)

[アクティベーション前の手順:](#)

[IoT運用ダッシュボードのIWサービス](#)

[テナント内のIW-49ライセンスのロック解除 \(TACチーム用\)](#)

[IWサービスからのIW-49ライセンスの有効化](#)

[デバイスでIW-49ライセンスを有効にする](#)

[設定のプッシュ/ダウンロード](#)

はじめに

このドキュメントでは、産業用ワイヤレスアクセスポイントで4.9 GHzの周波数サポートを有効にするために必要な手順について説明します。

背景説明

Cisco Catalyst IW9167E、IW9165D、およびIW9165E APは、URWBモードの4.9 GHz周波数帯域をカナダ(-A)および-B (米国) ドメインでサポートします。

URWBは、Multiprotocol Label Switching(MPLS)over Wirelessリンクプロトコルの特別な実装によって信頼性の高いワイヤレスを提供します。このプロトコルは、IP対応トラフィックをモビリティコンテキストで低遅延で送信する際に、標準のワイヤレスプロトコルの制限を克服するために作成されました。「Make Before Break」方式では、移動中の車両は接続を中断することなく、パスに沿って次のアクセスポイントに接続を確実に移動できます。

サポートされるAPとファームウェア

- ・ 現在、IW-49ライセンスをサポートしているのは、規制ドメイン-Aおよび-B (カナダおよび米国) のみです。
- ・ 規制ドメイン: Qは4.9 GHzの周波数をサポートし、ライセンスはアクティブ化しません。
- ・ その他の規制地域 (-ROW、-Fなど) では、IW-49ライセンスと4.9 GHz周波数をサポートしていません。

このサポートは、特にUltra Reliable Wireless Backhaul(URWB)モードで動作するAPを対象としています。

アクティベーション前の手順：

1. 規制機関が一般的に発行するこれらの周波数の使用に関する許可を提供してください。
2. 認可のための参照コピーは、エンジニアリングによるさらなる検証のためにTACと共有されます。
3. 確認後、TACチームは4.9 GHzを有効にするためのプロセスフローを開始できます。
4. TACエンジニアは、IoT Operations Dashboard(IoT OD)でIW-AdminまたはIW-Viewmodeを使用して組織にアクセスできる必要があります。
5. 組織内のIWアクセスポイントをIoT ODのIWサービスにオンボーディングしてください。オンラインモードとオフラインモードの両方がサポートされています。TACチームは、テナント内でIW-49ライセンスのロックを解除する必要があります。

IoT運用ダッシュボードのIWサービス

この手順全体では、IoT Operations Dashboard(IoT OD)のIWサービスが必要です。産業ワイヤレス(IW)サービスは、産業ワイヤレスデバイスをプロビジョニングおよび管理するための安全なクラウドネイティブサービスです。

Catalyst IW9167E、IW9165E、IW9165Dアクセスポイント、およびシスコの超信頼ワイヤレスバックホール(URWB)モードで動作するIEC-6400ゲートウェイは、ここで設定および管理できます。

このエンドユーザIoT Operations Dashboardサービスでは、接続された産業用ワイヤレスデバイスのファームウェアをリモートで設定およびアップグレードすることもできます。

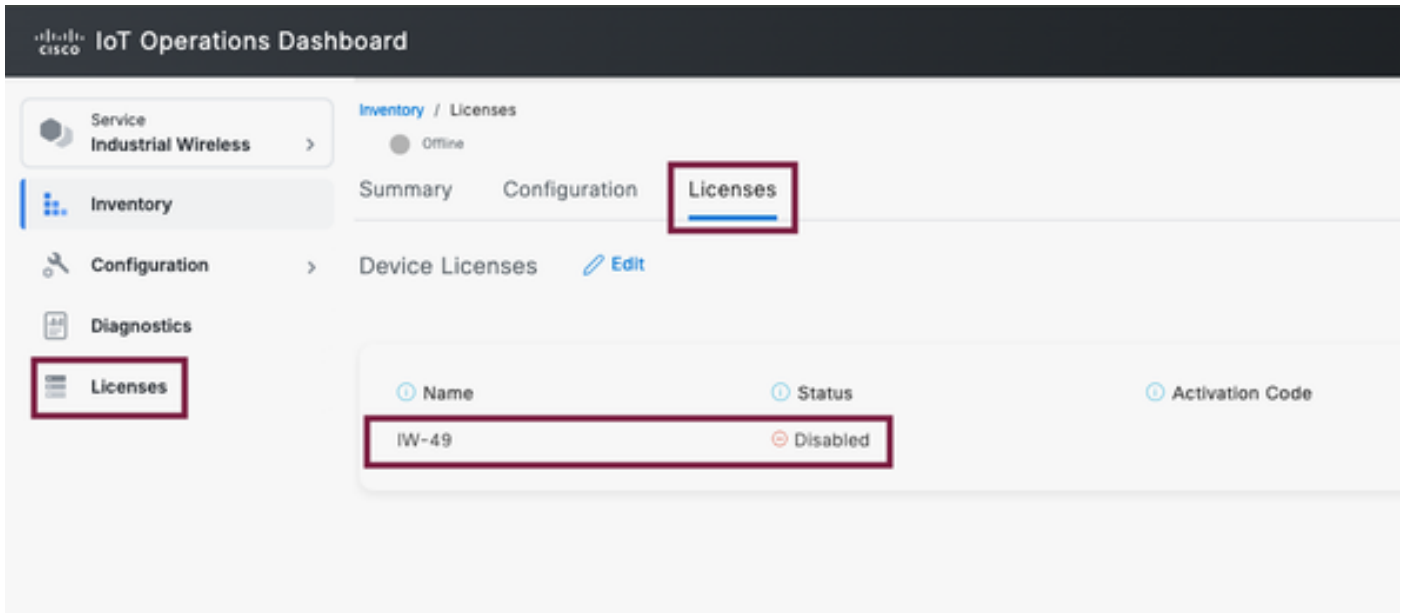
テナント内のIW-49ライセンスのロック解除 (TACチーム用)

IWサービスからのIW-49ライセンスの有効化

これらの手順は、組織 (TACまたは顧客) へのIW-Adminアクセス権を持つ任意のユーザが実行できます。

6. Inventoryに移動します。
7. IW-49が必要なデバイスを選択します。
8. Licensesサブセクションに移動します。
9. [Edit] をクリックします。
10. Editをクリックすると、右側にサイドバーが表示されます。
11. [Enable] をクリックします。
12. Confirmをクリックします。

注：IW-49ライセンスは非アクティブ化できません。



デバイスでIW-49ライセンスを有効にする

IW-49ライセンスがIWサービスのデバイス上でアクティブになりますが、物理デバイス(AP)ではまだアクティブになっていません。

注：FMライセンスのようなアクティベーションコードはありません。

13. Configurationに移動します。
14. [Edit] をクリックします。
15. Radio 1またはRadio 2の周波数を4900 ~ 4990 MHzの範囲で選択します。IW-49ライセンスをアクティブ化しないと、これらの周波数はドロップダウンに表示されません。

Edit Device Configuration

Search

General

Wireless Radio

Advanced Radio Settings

Key Control

FluidMAX

Multicast

SNMP

Radius

NTP

L2TP

Vlan

Fluidity

Fluidity Advanced

Fluidity Pole Proximity

Fluidity Frequency Scan

Fluidity MPO

Fast Fallover (TITAN)

Misc

Spanning Tree

MPLS

Wireless Radio

Passphrase

CiscoURWB2

Radio 1 enabled



Radio 1 role

Fixed

Indoor Deployment



Radio 1 Frequency (MHz)

5180 MHz

4945 MHz

4950 MHz

4955 MHz

4960 MHz

4965 MHz

設定のプッシュ/ダウンロード

16. IWサービスの設定を物理デバイスに適用します。これを行うには、次の2つの方法があります。

- オンラインモード：接続されたデバイスに設定をプッシュします。
- オフラインモード：設定をダウンロードし、デバイスにアップロードします。

17. デバイスの再起動を待つ

リブート後、物理デバイスで4.9 GHzの周波数を使用できるようになります。

4.9周波数を有効にした後は、IoT Operations Dashboard(IoT OD)でIWサービスでデバイスを管理する必要はありません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。